

43197

教科書文庫

4
499
31-1908
25000
08954

1-1  
1-2

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

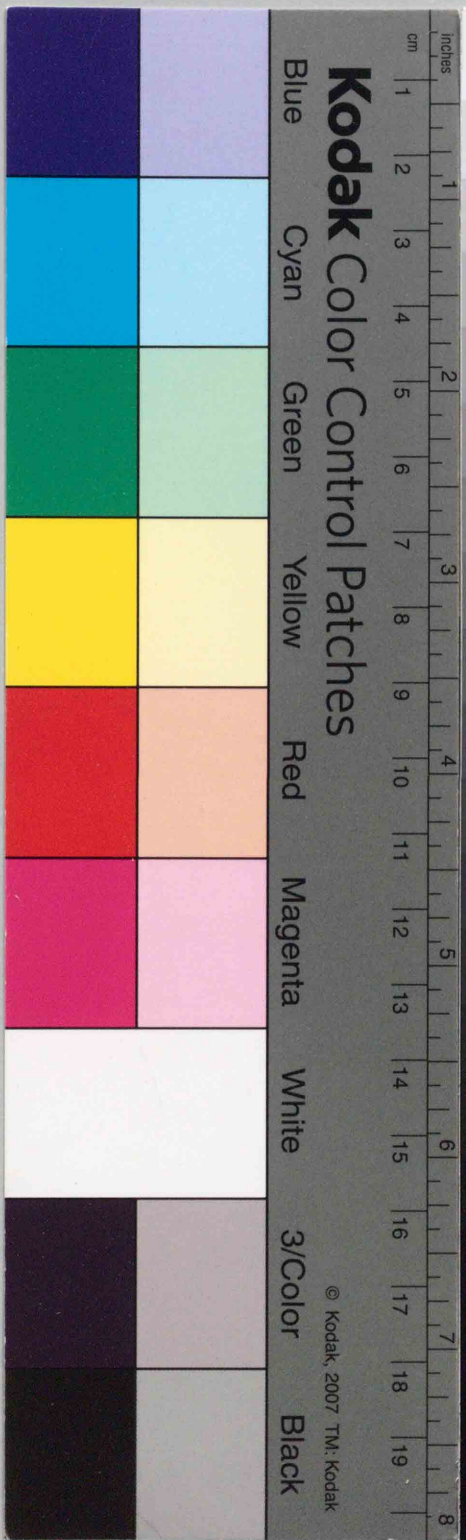


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



330  
95

文部省藏版

片假名信號法

發行所 六合館書店





390類  
35

廣師(男)登錄書號  
第 8989 號

發行所

六合館書店

廣師校印

# 片假名信號法



文部省藏版

縣第 和 部冊數 操 号



本書ハ海軍上等信號兵曹御園生萬吉外二氏ノ編纂  
ニ係リ海軍省ヨリ本省ニ寄贈セラレタルモノニシ  
テ本省ニ於テハ片假名信號法教授上裨益尠カラザ  
ルモノト認め特ニ之ヲ公ニスルコトト爲セリ今之  
ヲ出版スルニ當リ深ク海軍省ノ厚意ト編纂者諸氏  
ノ勞ヲ謝ス

明治四十一年十一月

文  
部  
省



凡例

一、片假名信號法ノ演習ヲ分チテ基本演習、合併演習及通信演習ノ三トス

二、基本演習ニ在リテハ一原劃ヲ一教トシ每教一原劃ヲ五回ツツ畫カシメ一原劃ハ二舉動ヲ以テ之レヲ行ハシムルモノトス其要領左ノ如シ  
但シ第十一教、第十二教ハ之レヲ省略シテ行ハザルモ妨ゲナシ

(イ)第一教ノ第一原劃ヲ畫カシムルニハ「第一教第一原劃始メ」ノ號令ヲ下シ水平ニ伸バシタル位置ヲ第一舉動トシ原姿ニ復シタル位置ヲ第二舉動トシ斯ク連續五回畫キ



最後ノ原割ハ其ノ位置ヲ保タシメ「原姿」ノ號令ヲ下シテ  
 原姿ニ復スルモノトス  
 第二教、第六教、第七教、第八教、第九教及第十教ノ運動モ亦  
 之レニ準ズ

(ロ)第三教ノ第三原割ヲ畫カシムルニハ「第三教第三原畫始  
 メ」ノ號令ヲ下シ左方四十五度ノ仰角ニ振上ゲタル位置  
 ヲ第一舉動トシ右方四十五度ノ俯角ニ振り下シタル位  
 置ヲ第二舉動トシ原姿ニ復スルコトナク連續五回之レ  
 ヲ行ヒ最後ニ其振り下シタル位置ヲ保タシメ「原姿」ノ號  
 令ニテ原姿ニ復スルモノトス  
 第四教ノ運動モ亦之ニ準ズ

(ハ)第五教ノ第五原割ヲ畫カシムルニハ「第五教第五原割始  
 メ」ノ號令ヲ下シ頭上ニ交叉セル位置ヲ第一舉動トシ之  
 レヲ左右水平ノ位置ニ開キタル位置ヲ第二舉動トシ原  
 姿ニ復スルコトナク連續五回之レヲ行ヒ最後ニ交叉シ  
 タル位置ニ保持セシメ「原姿」ノ號令ニテ原姿ニ復スルモ  
 ノトス

三、合併演習ニ在リテハ五十音ノ各行ヲ一教トシ每教其行ノ  
 五字ヲ劃カシメ別ニ舉動ヲ附セズ但シ多數ノ兒童ヲ合同  
 シテ之レヲ行ハシムルニハ便宜上舉動ヲ附スルモ妨ゲナ  
 シ其要領左ノ如シ

(イ)舉動ヲ附セザルトキハ「第一教ア行演習始メ」ト號令ヲ下  
 シ「アイウエヲ」ヲ畫キ終リテ原姿ニ復セシム又之レニ舉  
 動ヲ附セントスルニハ「第一教ア行演習ヲ行フ」ト豫告シ



次ニ「ア」ト令シ生徒ヲシテ「ア」ノ一字ヲ畫カシメ次ニ「イ」ト令シ「イ」ノ字ヲ畫カシムル如ク一字一字ニ號令ヲ以テスルモノトス以下之ニ準ズ

(ロ)合併演習ハ即チ基本演習ニ於テ修得シタル諸原劃ヲ組合ハセ片假名字ヲ構成スルノ演習ニシテ其方法第一動ヨリ第二動ニ移リ又第二動ヨリ第三動ニ移ルニハ極メテ迅速ニ動作スベシ

(ハ)各動後ハ直チニ原姿ニ復スルヲ例トスルモ同一字中ニ於テ一ノ原劃ヨリ次ノ原劃ニ移ルニハ時宜ニ依リ原姿ニ復セザルモ妨ゲナシ例ヘバ「タ」ノ字及ビ「メ」ノ字ノ如キ是レナリ

第五原劃ヨリ第一原劃ニ移ルニハ頭上ノ交叉ヲ解キテ

原姿ニ復スルコトナク直チニ水平ノ位置ニ伸バスンノ字ノ如キ是レナリ

第五原劃ヨリ第三原劃ニ移ルニハ手旗ヲ交叉シタルママ前方ニ倒シ胸ノ高サニ至ルヤ否ヤ之レヲ左方ニ揚ゲテ第三原劃ヲ畫クツノ字及ビ「ツ」ノ字ノ如キ是レナリ

四、通信演習ニ在リテハ之レヲ二教ニ分チ通信ニ要スル諸形象ヲ第一教トシ各自ノ通信演習ヲ第二教トス其要領左ノ如シ

(イ)第一教ニ在リテハ其要領基本演習ト同一ナレドモ此運動ニ在リテハ別ニ舉動ヲ附スルコトナク「第一演習起信始メ」或ハ「第六演習句讀始メ」等ノ如ク號令ヲ下シ別ニ何回ト定ムルコトナク之レヲ繼續セシメ終リニ「原姿」ト令



シテ之レヲ止ム但シ實用ニ當リテハ振ルコト數回或ハ十秒間其ノ位置ヲ保ツ等ノ如キ規定ニ從フモノトス

(ロ)第二教ニ在リテハ合併演習ニ於テ修得シタル片假名ノ構成法ヲ應用シ自由ニ通信スルノ演習ニシテ左ノ方法ニ依ルヲ可トス

(一)一生徒ヲ起信者ト定メ之レニ發信スベキ信號ヲ命ジ起信セシメ他ノ衆生徒ヲシテ之レヲ受信セシメ終リニ教員ハ各自ニ質問スル如ク輪番ニ行ハシムル事但シ信號ハ短文ヲ選ミ又場合ニヨリ起信者タル生徒ノ任意タラシムルコトアルベシ

(二)教員自ラ起信者トナリ前項ノ方法ヲ行フ事

(三)生徒ヲ分チ二人一對トナシ適當ノ距離ヲ隔テテ位置

ヲ取ラシメ交互自由ニ通信ヲ行ハシムル事

但シ各組ノ人員ハ其教育ノ状態ニヨリ二人或ハ三人ヲ一團トナスモ妨ゲナシ

五、棍棒演習ハ手旗ニ代フルニ棍棒ヲ以テスルモノニシテ基本演習及其他ノ演習ニ準ジテ之レヲ行フモノトス

六、總テ綴字ハ初メハ徐々ニ之レヲ行ヒ一秒一字ノ速度ニ達セシムルモノトス

七、此演習ヲ行フニ當リテハ必ズ不動ノ姿勢ヲ執リタル後之レヲ始ムベキモノトス

八、此演習ハ信號旗ヲ用ヒテ之レヲ行ハシムルモノナレドモ準備演習トシテ徒手ニテ之レヲ行ハシムルモ妨ゲナキモノトス實地交信ニ當リテ旗ヲ有セザルトキハ手巾、帽、杖等



ヲ用ヒテ行フコトヲ得又徒手ニテ行フコトヲモ得ルモノナリ

九、此演習ハ尋常小學校第四學年以上ノ兒童ニ行ハシムルヲ適當トス但シ棍棒演習ハ中學程度以上ノ生徒ニアラザレバ之レヲ行ハシメザルヲ可トス

十、此信號法ハ海軍及陸軍ニ於テ行ハルルモノナルガ故ニ其形式及方法トモ猥リニ變更ヲ加フベカラズ

十一、此信號ニ用ユル手旗ハ必ズシモ赤色及白色ノモノニ限ラザルモ一般ニ遠距離ヨリ識別シ易キモノヲ選ミ其右手ニ保持スベキモノハ特ニ著明ナルモノヲ可トス

目次

第一章 基本演習

原姿……………一

第一教 第一原劃……………一

第二教 第二原劃……………二

第三教 第三原劃……………二

第四教 第四原劃……………二

第五教 第五原劃……………三

第六教 第六原劃……………三

第七教 第七原劃……………三

第八教 第八原劃……………四



第九教 第九原劃……………四

第十教 第十原劃……………四

第十一教 濁點……………五

第十二教 半濁點……………五

第一章 合併演習

第一教 ア行演習……………七

第二教 カ行演習……………八

第三教 サ行演習……………九

第四教 タ行演習……………一〇

第五教 ナ行演習……………一一

第六教 ハ行演習……………一二

第七教 マ行演習……………一三

第八教 ヤ行演習……………一四

第九教 ラ行演習……………一五

第十教 ワ行演習……………一六

第三章 通信演習

第一教 第一演習 起信……………一七

第二教 第二演習 應信……………一七

第三教 第三演習 消信……………一八

第四教 第四演習 終信……………一八

第五教 第五演習 受信……………一八



第六演習	句讀	一九
第七演習	新章	一九
第八演習	句讀消信	一九
第九演習	新章消信	二〇
第二教		
實地通信演習		二〇

第四章 棍棒演習


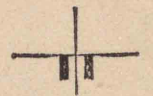




第一教	第一原劃	二九
第二教	第二原劃	二九
第三教	第三原劃	二九
第四教	第四原劃	二九

目次終

第五教	第五原劃	三〇
第六教	第六原劃	三〇
第七教	第七原劃	三〇
第八教	第八原劃	三〇
第九教	第九原劃	三〇
第十教	第十原劃	三〇



# 第一章 基本演習 (片假名信號法ノ原劃)

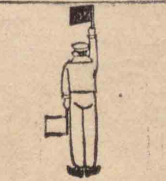
第一原劃	原姿	名稱	原劃
		劃	劃
		手旗形象	手旗形象
		同背面	同背面
<p>第一教</p> <p>兩手ヲ左右水平ニ伸バス</p>	<p>兩手ヲ垂レ不動ノ姿勢ヲ執ル</p>	說明	說明
<p>兩手ヲ原姿ノ位置ヨリ側方水平ニ運ビ手ノ甲ヲ上方ニ向クルモノトス</p>	<p>手旗ノ柄端ヲ握リ食指ヲ柄ニ添ヘテ伸バシ旗ハ常ニ腕ト一線ニアラシメ肢ノ外側ニ接シテ手ノ甲ヲ外方ニ向クルモノトス</p>	詳	詳

片假名信號法

一



劃原二第



左手ヲ垂レ右手ヲ垂直ニ揚グ

左手ハ原姿ノママ右手ヲ體ノ前方ヨリ運ビ腕ヲ耳ニ觸ルル如クシ手ノ甲ヲ右方ニ向ケ旗ハ眞直ニ保ツモノトス

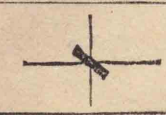
劃原三第



兩手ヲ左方四十五度ノ仰角ヨリ右方へ四十五度ノ俯角ニ振リ下ス

兩手ヲ左正横四十五度ノ上ニ揚ゲ(右手ハ左手ニ添ヘ)其位置ヨリ體ノ前方ニ一斜線ヲ畫キツツ面前ニ於テ兩旗ヲ摩リ合ハス如ク右正横四十五度ノ下ニ振リ下スモノトス

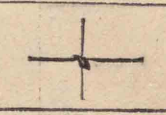
劃原四第



兩手ヲ右方四十五度ノ仰角ヨリ左方へ四十五度ノ俯角ニ振リ下ス

第三原劃ノ運動法ニ準ジ右方ヨリ左方ニ振リ下スモノトス

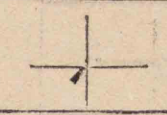
劃原五第



兩手ヲ頭上ニ交叉ス

兩手ヲ兩側ヨリ圈ヲ畫ク如ク頭上ニ高ク運ビ手旗ヲX形ニ交叉ス此時ニ何レノ旗ヲ前後ニナスモ差支ナシ又原姿ニ復スルニハ旗ヲ斜前ヨリ振リ下スモノトス

劃原六第



左手ヲ垂レ右手ヲ右方四十五度ノ俯角ニ出ス

左手ハ原姿ノママ右手ヲ右側ヨリ四十五度ノ下方ニ出ス此原劃ハ特ニ明示スルタメ他ノ原劃ニ比シテ瞬時長ク保ツヲ可トス

劃原七第



右手ヲ垂直ニ揚ゲ左手ヲ左方水平ニ出ス

右手ハ第二原劃ヲ作爲スルトキノ如ク體ノ前方ヨリ上ゲ左手ハ第一原劃ヲ作爲スルトキノ如ク側方ヨリ出シ之レヲ同時ニ行フモノトス

第二教

第三教

第四教

第五教

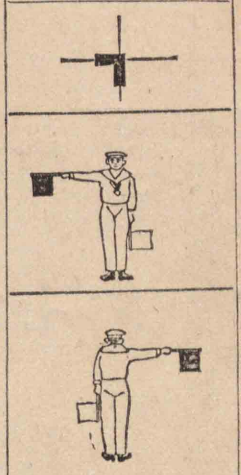
第六教

第七教



第八教

劃原八第

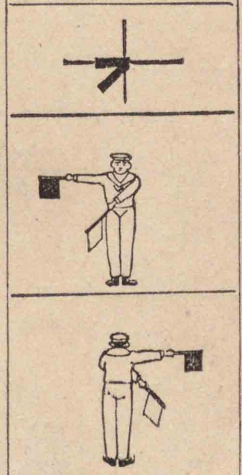


左手ヲ垂レ右手ヲ右方水平ニ出ス

左手ハ原姿ノママ右手ハ第一原劃ヲ作爲スルトキノ如ク動作スルモノトス

第九教

劃原九第

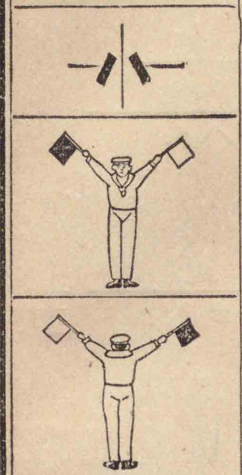


右手ヲ右方水平ニ伸バシ左手ヲ右方四十五度ノ俯角ニ出ス

右手ハ第八原劃ヲ作爲スルトキノ如クシ同時ニ左手ヲ體ニ接シテ右方四十五度ノ下方ニ出スモノニシテ此時左手ハ充分伸バシテ可成右手ノ下方ニアラシムルヲ可トス

第十教

劃原十第

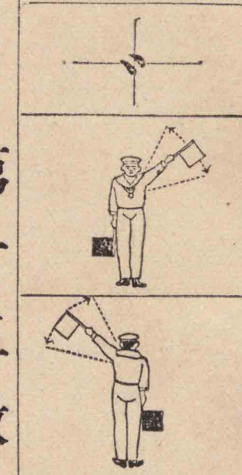


兩手ヲ左右四十五度ノ仰角ニ揚グ

兩手ヲ兩足尖ノ方向即チ斜メ前方ヨリ運ビ左右四十五度(兩手ノ角度ハ九十度)ノ上方ニ揚グベシ之レヲ原姿ニ復スルニハ反對ノ動作ヲ行フ

第十一教

濁點

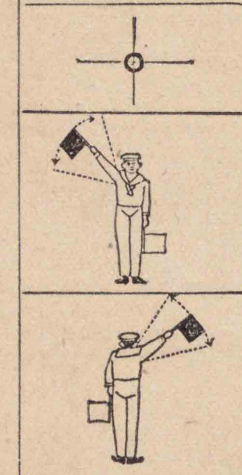


清音形象ヲ振リ終ルヤ否ヤ左手ヲ四十五度ノ仰角ニ揚ゲ一二回之レヲ振ル

濁點ヲ附スル字ハ其ノ清音ノ假名字ヲ畫キテ原姿ニ復スルヤ否ヤ行フモノナリ

第十二教

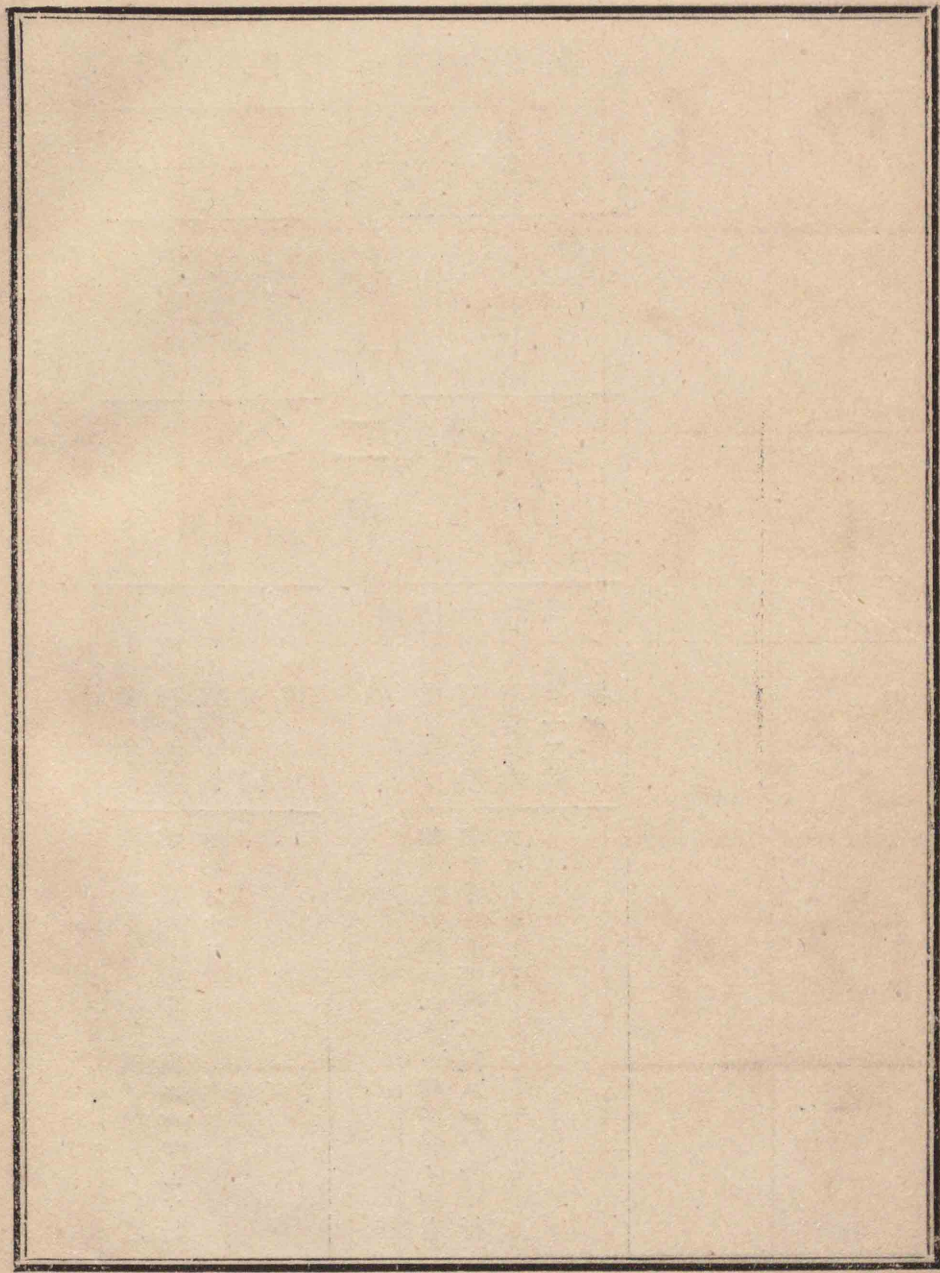
半濁點



清音形象ヲ振リ終ルヤ否ヤ右手ヲ四十五度ノ仰角ニ揚ゲ一二回之レヲ振ル

半濁點ヲ附スル字ハ其清音ノ假名字ヲ畫キテ原姿ニ復スルヤ否ヤ行フモノナリ





第二章 合併演習 (片假名四十六字ノ構成)

片假名	形象組合順序	組合ハセ	所要ノ
第一動	第二動	第三動	タル字
原	劃		

第一教

ウ	イ	ア
、	ノ	フ
丨	丨	ノ
フ		
ウ	イ	ア
五、二、九	三、二	九、六



ク	キ	カ	ヲ	エ
ノ	一	ㄟ	一	一
ノ	一	ノ	ㄟ	ノ
	丨			一
ㄥ	キ	カ	ヲ	エ
三、三	一、二	八、三	一、九	一、六、一

第二教

ウ	シ	サ	コ	ケ
一	ノ	一	ㄟ	ㄥ
丨	ㄥ	丨	一	ノ
ノ		丨		
ウ	シ	サ	コ	ケ
一、二、五	五、七	一、二、二	八、一	七、六

第三教



ヌ	ニ	ナ	第五教	ト	テ
フ	一	一		丨	一
ノ	一	ノ		、	一
					ノ
ヌ	ニ	ナ		ト	テ
九、 四	一、 一	一、 三	二、 五	一、 一、 六	

ツ	チ	タ	第四教	ソ	セ
、	ㄣ	ノ		、	フ
、	丨	ノ		ノ	ㄣ
ノ		、			
ツ	ㄣ	ノ		ソ	セ
五、 五、 三	七、 二	三、 三、 五	五、 三	九、 七	



フ	ヒ	ハ	ノ	子 <small>子</small>
フ	一	ハ	ノ	フ
	└			丨
				一
フ	ヒ	ハ	ノ	子
九	一七	十	三	九二一

第六教

ム	ミ	マ	ホ	ヘ
└	一	フ	一	ノ
、	一	、	丨	
	一		ハ	
└、	三	フ	ホ	ノ
七五	一一一	九五	一二十	四

第七教



ロ	レ	ル	リ	ラ	第九教
ㄣ	ㄥ	丨	丨	、	
ㄥ		ㄥ	丨	ㄣ	
ロ	ㄥ	ㄥ	ㄥ	ㄣ	
八、七	七、	二、七	二、二	五、九	

ヨ	ユ	ヤ		モ	メ	第八教
ㄣ	ㄣ	ㄣ		一	／	
一	一	、		一	、	
一				ㄥ		
ヨ	ㄣ	ㄣ		モ	メ	
八、二、一	九、一	八、四		一、一、七	三、五	

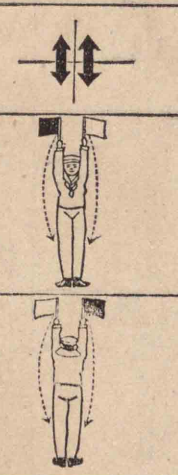
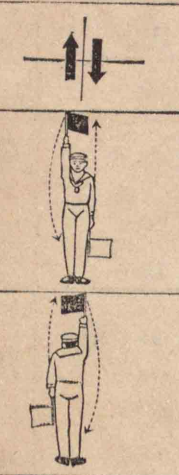


# 第十教

		丨	ン	ワ
		丨	、	丨
			一	フ
		丨	ニ	ワ
		ニ	五	ニ
			一	九

## 第三章 通信演習

### 第一教 交信ニ要スル諸形象

稱名	原劃形象	背面說明	詳解
起信		第一演習 起信者ノ兩手ヲ同時ニ並行ニ上下ニ振ルコト數回ス	此形象ハ信號ヲ爲サントスルトキ受信者ヲ呼ブ爲メニ用ユルモノニシテ受信者ノ應信形象ヲ振ルヲ見ルマデ起信スルモノトス
應信		第二演習 應信者ノ兩手ヲ交上下ニ振ルコト數回ス	手旗ハ面前ニ於テ行キ違フ如ク交上下ニ振ルモノニシテ起信者ガ己レニ向ヒテ起信形象ヲ振ルヲ見バ直チニ受信ノ準備ヲ整ヘテ起信者ノ起信形象ヲ止ムルマデ振ルモノトス



第三演習

消 信



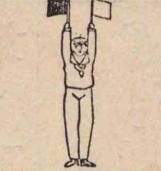
兩手ヲ左右斜前  
四十五度ノ仰角  
ニ出シ之レヲ前  
方ニ交叉スルコ  
ト數回ス



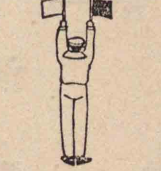
此形象ノ交叉ハ右手ヲ上ニスルモ  
左手ヲ上ニスルモ又交互ニ上下ス  
ルモ差支ナキモノトス其用法ハ各  
自通信演習ノ部ニ説明ス

第四演習

終 信



起信者兩手ヲ垂  
直ニ揚グ



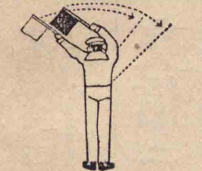
信號ノ最終字劃ヲ示シ一旦原姿ニ  
復シタル後示スモノニシテ手旗ハ  
肩ノ幅ニ揚グ且ツ受信者ガ了解形  
象若クハ消信形象ヲ振ルマデ之レ  
ヲ揚グ置クモノトス

第五演習

受 信 (了)



受信者兩手ヲ垂  
直ニ揚グ並行セ  
ルママ左右ニ振  
ルコト數回ス



此形象ハ振ルコト數回ト定メアル  
モ起信者ガ之レヲ認識シ得ルニ於  
テハ二三回ニテモ差支ナキモノナ  
リ而シテ之レヲ止ムルニハ垂直ニ  
揚グタル位置ヨリ下スヲ可トス

第六演習

句 讀



起信者右手ヲ右  
方四十五度ノ仰  
角ニ揚グ約十秒  
間其位置ニ保ツ



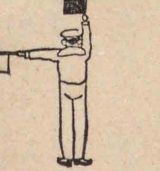
一ト句切ノ信文ノ最終假名字ヲ示  
シ一旦原姿ニ復シタル後爲スモノ  
ニシテ其用法ハ各自通信演習ノ部  
ニ説明ス

第七演習

新 章



起信者第七原劃  
ヲ作リ約十秒間  
其位置ニ保ツ



一項ノ信文ノ最終假名字ヲ示シ一  
且原姿ニ復シタル後爲スモノニシ  
テ其用法ハ各自通信演習ノ部ニ説  
明ス

第八演習

句 讀 消 信



句讀形象ヲ示シ  
其位置ヨリ右手  
ヲ左右ニ振ルコ  
ト數回ス

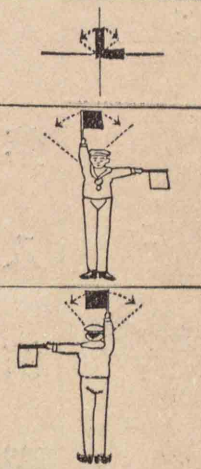


此形象ヲ振ルニハ腕ヲ屈伸スル如  
ク動作スルヲ可トス其用法ハ各自  
通信演習ノ部ニ説明ス



第九 演習

新章消信



新章形象ヲ示シ  
其位置ヨリ右手  
ヲ左右ニ振ルコ  
ト數回ス

第二教 實地通信演習

句讀消信ノ方法ニ準ジテ之レヲ振  
ルモノニシテ其用法ハ各自通信演  
習ノ部ニ説明ス

起信者

一、信號ヲ爲サントスルトキハ先ツ  
受信者ヨリ見得易カルベキ位置ヲ  
選ミ之レニ向テ受信者ノ應信形象  
ヲ振ルヲ見ルマデ起信形象ヲ振ル  
(備考) 受信者ノ注意ヲ促スタメ音

受信者

一、起信者ガ已レニ向テ信號ヲナス  
タメ起信形象ヲ振ルヲ認メナバ直  
チニ應信ノ準備ヲナシ之レニ對シ  
應信形象ヲ振り來ルベキ信號ニ注  
目ス

響ヲ發スルカ又ハ彼我ノ約  
束ニヨリ旗旒ヲ引キ揚グル  
等ノ手段ヲ行フコトアリ

一、受信者ノ應信セルヲ見バ起信形  
象ヲ止メ第二章合併演習片假名構  
成法ニ準ジ片假名字ヲ作爲シ言語  
ヲ連ネテ意思ヲ通ズルモノトス

二、起信者ノ連續爲ス信號ヲ一字ツ  
ツ讀ミテ信號ノ了解ニ努ム

三、長キ信號ハ之レヲ數句ニ分チ一  
句毎ニ句讀形象ヲ作爲ス

三、起信者ガ句讀形象ヲ示シタルト  
キ其一句ヲ了解セバ已レモ亦句讀



形象ヲ作爲シテ其句切迄ノ了解ヲ示ス  
若シ了解シ能ハザルトキハ句讀消信ヲ振り更ニ其句ノ繰返シヲ要求ス

四、受信者ガ句讀形象ヲ示スヲ見バ次デ所要ノ信號ニ進ム  
若シ句讀消信ヲ爲スヲ見バ己レモ亦句讀消信ヲナシ最初ノ一句ナレバ更ニ起信形象ヨリ始メ第二句以下ナリセバ句讀消信ヲナシタル後

四、起信者句讀消信ヲナシ更ニ起信形象ヲ振ルトキハ應信形象ヲ振ル句讀消信ノ後再び句讀形象ヲ示スヲ見バ己レモ亦句讀形象ヲ爲シテ前句ノ了解シアルコトヲ示ス

再び句讀形象ヲ示シ前一句ノ了解セルヤ否ヤヲ確ム

五、受信者ノ句讀形象ヲ見バ所要ノ信號ニ進ム

五、送ラルル信號ノ了解ニ努ム

六、信號ヲ了ラバ終信形象ヲ示ス終信形象ハ受信者ノ了解形象ヲナスカ或ハ消信形象ヲナスヲ見ルマデ之レヲ保持スルモノトス

六、起信者ガ終信形象ヲ作爲シタルトキ己レ其信號ヲ了解セバ受信形象ヲ振ルモノトス  
若シ了解シ能ハザルトキハ最後ノ一句ナレバ句讀消信ヲナシ其句ノ



繰返ヲ要求スベク又全部ナラバ單ニ消信形象ヲナシテ其信號ノ發端ヨリ繰返サンコトヲ要求スベシ

七、受信者ノ受信形象ヲ振ルヲ見バ信號ノ完全ニ通達シタルモノト知リ終信形象ヲ下シ返信ノ有無ニ注意ス

若シ句讀消信ヲ見バ己レモ亦句讀消信ヲナシ第四以下ノ方法ヲ行フ

七、信號ヲ了解シ受信形象ヲ示シタル後其返信ヲ發セントスルトキハ直チニ起信者ノ攔ニ示ス要領ニ準ジテ送信ス

最後ノ一句ノ繰返ヲ要求シタルトキハ第四以下ノ方法ニ準ジテ來ルベキ信號ノ了解ニ努ム

八、最後ノ一句ヲ繰返シ了ラバ終信形象ヲ示ス

八、信號ヲ了解セバ受信形象ヲ作爲ス

九、信文ヲ各項ニ分チ段落ヲ附スル必要アルトキハ毎項ノ終リニ新章形象ヲ挿入ス

九、起信者ガ新章形象ヲナスヲ見其項ヲ了解セバ己レモ亦新章形象ヲ示ス  
若シ了解シ能ハザルトキハ其項ノ内ノ最後ノ一句ナレバ句讀消信ヲ振り又其項全體ナラバ新章消信ヲ作爲シ其繰返ヲ要求ス



一〇、受信者ノ新章形象ヲ爲スヲ見  
 バ次ノ信號ニ進ム  
 若シ新章消信ヲ見バ己レモ亦新章  
 消信ヲナシ信號ノ發端ナルトキハ  
 更ニ起信形象ヨリ始メ又第二項以  
 下ノ時ナレバ再ビ新章形象ヲナシ  
 前項ノ了解セルヤ否ヤヲ確ムルコ  
 ト句讀形象ノ用法ニ同ジ

一一、送信中或字ヲ誤レルトキハ直  
 チニ消信形象ヲナシ其一字ヲ取消  
 シタル後畫キ直スベキモノニシテ

一〇、起信者ノ新章消信ヲナシ更ニ  
 起信形象ヲ振ルトキハ應信形象ヲ  
 ナス  
 新章形象ヲ示サバ己レモ亦前項ノ  
 了解シアルコトヲ示スタメ新章形  
 象ヲ示シ次ニ繰返シ來ル信號ノ了  
 解ニ努ム

一一、起信者字ヲ誤リタル爲メ消信  
 形象ヲ振ルヲ見バ己レモ亦消信形  
 象ヲ振ルベキモノナレドモ若シ起

一句一項等ノ誤謬繰返シノ場合ニ  
 モ夫々句讀消信或ハ新章消信等ヲ  
 應用スルモノトス  
 信號全部ヲ取消サントスルトキハ  
 單ニ消信形象ヲ振ルノミトス

一二、受信者ノ消信形象ヲ見バ夫レ  
 夫レ其場合ニ應ジ前諸項ノ要領ニ

信者消信形象ヲナシ直チニ字ヲ畫  
 キ直ストキハ強テ消信形象ヲ振ル  
 ニ及バザルモノナリ  
 若シ起信者ノ送信中ニ己レ了解シ  
 難キ字アルトキハ直チニ消信形象  
 ヲナスベシ  
 信號ノ發端ヨリ全部ノ繰返ヲ要求  
 スルニハ終信形象ヲ示シ次ニ消信  
 形象ヲ振ルモノトス

一二、了解セルトキハ夫レ夫レ了解  
 ヲ示ス形象ヲ爲スモノトス


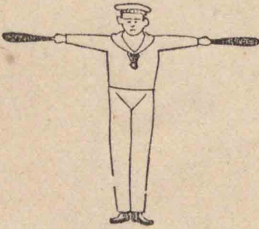




從ヒ信號ヲ繰返シ最後ニ終信形象ヲ示スモノトス

# 第四章

## 棍棒演習

(手旗ニ代フルニ棍棒ヲ以テスル演習)

教 二 第	教 一 第	教
劃 原 二 第	劃 原 一 第	原 劃
		姿
		勢
教 四 第	教 三 第	教
劃 原 四 第	劃 原 三 第	原 劃
		姿
		勢



教 七 第 劃 原 七 第	教 六 第 劃 原 六 第	教 五 第 劃 原 五 第
		
教 十 第 劃 原 十 第	教 九 第 劃 原 九 第	教 八 第 劃 原 八 第
		

明治四十一年十二月二日印刷  
 明治四十一年十二月五日發行

定價金七錢

著作權者

文 部 省

發行者

林 平 次 郎

東京市日本橋區數寄屋町九番地  
 凸版印刷株式會社代表者

印刷者

河 合 辰 太 郎

東京市下谷區二長町一番地  
 凸版印刷株式會社

印刷所

東京市日本橋區數寄屋町九番地

發所行

六 合 館 書 店



